

厚岸町×クラレンス市 40th Anniversary

～みんなで考える国際交流プロジェクト～



嘉永3年(1850年)にオーストラリアの捕鯨船イーモント号が末広海岸に座礁した際、地元住民が乗組員を救助し送還した史実がきっかけとなり、昭和57年2月9日に町とクラレンス市が姉妹都市を提携しました。

その後、親善訪問や国際交流団体『アイリス』(現在は解散)による中学生、高校生を対象としたホームステイ等の交流事業、町が平成25年度から実施している『姉妹都市中学生等国際交流事業』等により親睦を深め、今年の2月に提携から40年の節目の年を迎えました。

この節目の年を記念して、提携のきっかけやこれまでの交流の歴史を多くの人に知ってもらい、交流をより深めるための講話会とワークショップを開催しましたので、その主な内容を抜粋してお知らせします。

こうして姉妹都市が
提携されたんだよ！



海事記念館の菅原学芸員からは、町とクラレンス市の姉妹都市提携の経緯について、『アイリス』に所属していた櫻井さんからは、団体を立ち上げた経緯、町内の中学生・高校生を対象としたクラレンス市での学生との交流やホームステイなどについてお話いただきました。

参加者の皆さんはうなずきながら真剣に話を聞いていました。

講話会

このワークショップの詳細や看板の設置場所など、ホームページをご覧ください



- デザイン案の一例
- ▽地図や写真、二次元バーコード
- ▽両市町の市章・町章を厚岸大橋で結んだイラスト



今後、参加者からいただいた意見やアイデアを参考に、町民の皆さんをはじめとした多くの人の目に触れ、町とクラレンス市との関係をより多くの人に知ってもらえるような看板を製作します。

末広海岸にある『縁の地』案内看板を作りなおすため、新たなデザイン案をみんなで考え、沢山の意見やアイデアが挙げられました。

ワークショップ① 看板デザインを一緒に考えよう！

▼案内看板の設置場所と現在の看板



ワークショップ② 交流をより深めるためには？

姉妹都市交流のさらなる発展のためにどんな活動ができるのか、『現状と実体験』『理想』『町民ができること』、地域・団体ができること、行政がすべきこと』をみんなで考えました。

交流事業等に参加したことのある人はその経験を活かしたアイデアを、参加したことがない人は新しい視点でのアイデアを共に出し合い、活発な意見交換が行われました。

【具体的な意見】

- 現状と実体験
- ▽アイリスや町が実施した交流事業に参加して楽しかった
- ▽クラレンスに行きたいけど、コロナが怖くて行けない
- 具体的な施策案
- ▽姉妹都市中学生等国際交流事業の継続と資金支援
- ▽交流資金を補うための募金活動
- ▽交流ブログの開設
- ▽語学の勉強会やアニメなどのサブカルチャーを通じたイベントの開催
- ▽クラレンス市のPR活動
- ▽クラレンス市の食材を使った給食の提供
- 町では参加者からいただいた意見等を今後の国際交流施策に活かしていきます。
- 問い合わせ／政策調整係